

2018

創刊号

人とひと つながる つなげる チーム医療のチカラ

Ikawadani Hospital

ホームページ  
リニューアル  
しました!!

# 伊川谷病院便り

伊川谷病院 広報誌



<創刊特集 ご挨拶/インタビュー >

病院長 中尾守次

広報委員会 委員長  
平田裕也(眼科医師)

創刊  
vol.1  
2018.6

こんにちは  
伊川谷病院です



医療法人社団 董会 伊川谷病院

# 創刊特集 ご挨拶/インタビュー

病院長  
中尾 守次  
なかお もりつぐ

・1975年鳥取大学医学部卒業。  
・鳥取大学医学部附属病院、兵庫県立姫路循環器病センター、加東市民病院院長などを経て、2012年院長に就任。  
現在、総合診療科を担当する。



Q. 開院から丸6年が経ちました。あらためて振り返ると?

## 時代と地域からのニーズに対応してきた6年間

私自身、民間病院ははじめての経験で、2012年7月の開設以来、民間病院の経営方法なども学びながら、方向性を探り続けてきた6年間でした。神戸市西区は、阪神淡路大震災後、市内中心部からの転入者が急増し、その人口は、市内最大にまで増加。現在、急激に高齢化が進行しています。実際に、当院の入院患者の内訳を見ても、80歳以上が3分の2を占めています。この状態は、年を追うごとに確実に上昇しつづけています。



私は、このような時代背景と地域からのニーズを把握し、それに沿った病院運営を行うことで、当院の基本理念である「医療施設・介護施設の連携を密にして地域に安心と納得、そして安全な医療の提供」を実現してきました。まずは、率先して高齢者を受け入れ、さらには急性期にも対応できるように、整形外科・リハビリ部門・内科を中心とした体制づくりを進めました。

次に、予防医学に重きをおいて、当院5階に「総合健康管理センター」を開設。今では年間8,000件を超える健康診断を行えるまでになりました。そして、乳腺外科、脳神経外科、消化器科、眼科、人工透析、内視鏡などの設備を整え、高齢の入院患者に対して、院内で可能な限り対応できる体制を築いてきました。

また、それらを礎にした「断らない医療」を実践するために、医局、看護部、事務部の連携を強化して、地域包括ケア病棟をフル活用して運営しています。



Q. 今現在の伊川谷病院の特長を教えてください。

## 急性期患者を受け入れて、 治療～リハビリ～在宅復帰へ

当院では、入院病床の半数以上を整形外科関連の患者が占めています。急性期機能として、外傷、骨折、運動器症候群の整形外科の患者さまを中心に、積極的な受け入れと集中的なリハビリを実施しています。

また、地域包括ケア病棟においては、リハビリ後の在宅復帰を促進する役割を担い、周辺の中核病院からの要請

も受け入れています。この病棟では、やはり高齢者が多いため、完全な自立を目的としたものではなく、その人に合った状態までの機能回復を目的としたリハビリを行い、在宅復帰を促進しています。

①高齢者を積極的に受け入れて、治療およびリハビリをし、在宅復帰へと導いていく。そして、②急性期の治療にも対応していく。この2つを軸にして、急性期病棟と地域包括ケア病棟をそれぞれの機能に応じた形で最大限有効活用することで、地元地域の皆さまに満足していただける医療サービスを提供できると考えています。



Q. 今後の目標について

## 地域の連携を深めて、 高齢者にやさしく暮らしやすい街を

開設以来の約6年間で、急性期の受け入れからリハビリ～在宅復帰まで、高齢者にやさしい院内体制づくりは出来上がりつつあります。今後は、地域住民の皆さまが安心して暮らせる「まちづくり」に貢献するために、周辺の医療機関や高齢者福祉施設、あるいはグループ内での連携を深めていきたいと考えています。

当院の半径4キロ圏内には、30以上の高齢者福祉施設が点在し、それぞれの近隣には、大規模および中規模病院や診療所があります。



また、当スミレ会グループとしても、西神戸エリアには、北須磨病院と名谷病院、当院の3病院がそれぞれの特長を生かして運営しており、高齢者福祉施設についても、周辺に11施設を抱えています。グループ内外を問わずに、これら周辺の医療機関や高齢者福祉施設と連携をより密にして地域包括ケアシステムを構築し、より実践的な医療・介護を通じて「高齢者にやさしく暮らしやすいまちづくり」を医療の側面から支えていきたいのです。

その実現のためにも、当院としても、つねに「経営の安定化」「医療の質の確保」、そして、患者満足度は言うまでもなく、職員が安心して長く働き続けることができるように「職員満足度の向上」という3つの要素のさらなる充実化を図っていかねばなりません。

地域の皆さまに信頼される病院でありつづけるには、この3要素を相まって向上させていくことが大変重要だと考えています。



広報委員会 委員長

平田 裕也

ひらた ゆうや



- ・眼科医師(日本眼科学会認定眼科専門医、医学博士、専門は白内障)
- ・1998年(平成10年)京都大学医学部卒業
- ・京都大学医学部付属病院、市立岸和田市民病院などを経て、2013年に当院眼科に着任。  
現在、昨年発足した広報委員会の委員長を務める。

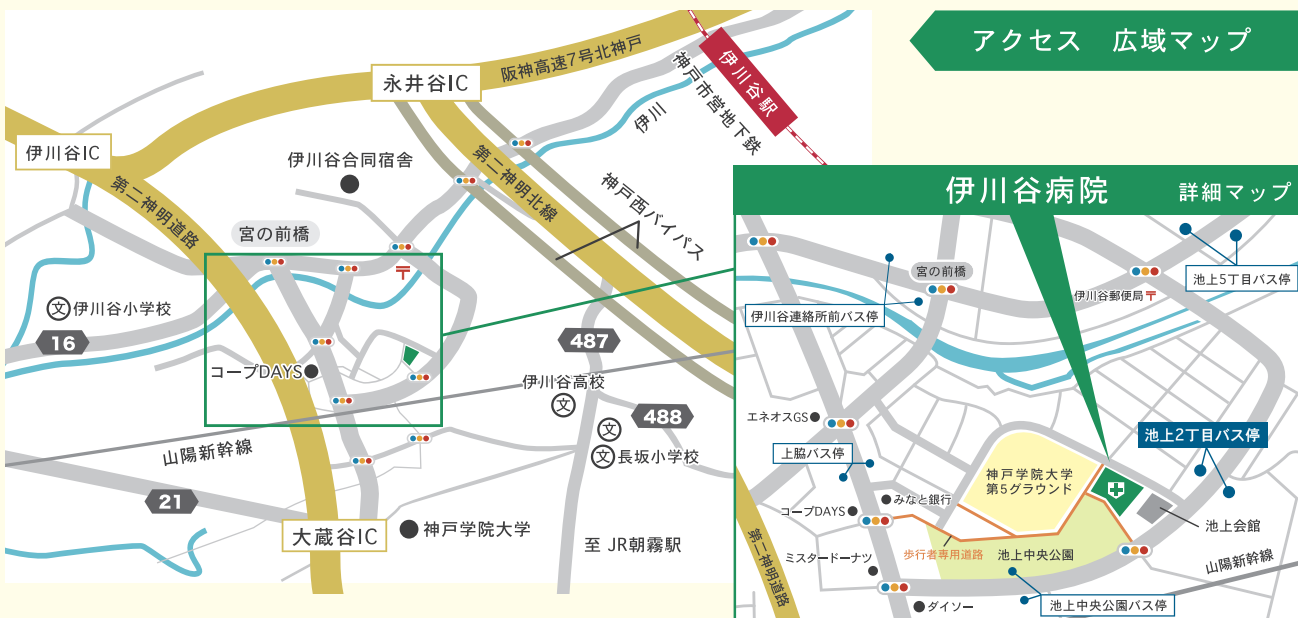
## Q. 広報委員会として、今後伝えていきたいことは？

当院は、立地条件こそ決してよいとは言えませんが、各診療科を揃えており、一人ひとりの患者さまを総合的にケアすることが可能です。私が担当している眼科におきましても、整形外科や内科など他の診療科を受診されている患者さまが多数おられ、大変便利だにご好評いただいております。

眼科診療につきましても、白内障手術に力を入れております。手術は、外来日帰り手術および入院での対応も行っており、患者さまのお身体の状態やご希望に応じて決めるようにしております。日常診療では、できるだけ丁寧な説明をし、一人ひとりの患者さまにとって最適な治療を心掛けております。

当院は、ご高齢の患者さまに対して、可能な限り、院内で対応できるように体制を整えておりますので、整形外科や内科は勿論のこと、眼科をはじめ他科の展開についても知っていただき、ぜひ便利に利用していただければ幸いです。

これからは、この広報誌『伊川谷病院便り』やホームページ等から、地域の皆さまのお役に立てるような情報を発信していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



## アクセス 広域マップ

## 伊川谷病院 詳細マップ

### 公共交通機関の場合～神姫バス～

市営地下鉄『伊川谷駅』/ JR『明石駅』から、⑤⑦系統 **池上2丁目** 下車すぐ。

そのほか **上脇** 下車徒歩6分など、⑭⑮⑯⑰系統のご利用が可能。

※詳しいバス停位置はマップをご覧ください。

### お車で来られる方

※地上と地下に駐車場があります(有料)

① 三宮方面から……………第二神明道路「大蔵谷インター」から7分

② 姫路方面から……………第二神明道路「大蔵谷インター」から7分/第二神明道路「伊川谷インター」から7分

③ 学園都市駅から10分

### 無料送迎バス

公共交通機関での来院が困難な患者さまやご家族を対象に、無料送迎バスを運行しています。ぜひご利用ください。「送迎バス運行ダイヤ」は、ホームページまたはお電話でもご確認いただけます。



医療法人社団 董会 伊川谷病院 Tel.078-974-1117

〒651-2111 兵庫県神戸市西区池上2丁目4-2 Fax.078-974-1157

HPリニューアルしました!!

<http://www.ikawadani.jp/>

